

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第209号

ななえ古写真物語

VOL.209

祭りの記憶

三嶋神社例大祭
昭和50年ころか
本町地区

決して信心深い訳ではないが、神社やお寺を見て回るのは好きだ。旅先ではなるべく足をのばし、狛犬の写真を撮ったり、祀られている神々にご挨拶したりはする。今でもさほど変わらないが、地域は神社やお寺とともに歴史を重ねていると思う。だから、その土地の記憶みたいなものが、石碑や植栽された木々に宿っている気がするのだ。

仕事でも神社を巡ることがある。ついこの間町内のある神社に行ってきたのだが、一段高くなった平場があるのに気づいた。土俵だ。長らく使われていないのか、あちこちに草が顔をだし、円形の勝負俵も見られない。そういえば、地域の祭りで相撲大会が開かれていることを耳にしなくなったような気がする。今も開かれているのだろうか。そんなことを考えながら、帰路に着いた。

相撲は国技のひとつで、現在はスポーツとして洗練されているが、かつては農作物の収穫を占う祭りの儀式として行われた神事であった。江戸時代からより娯楽としての要素が強くなったが、日本の伝統文化であることには変わらない。しかし、いつからか私たちのくらしの歳時記から消えつつあるのは、寂しい気がする。

今回紹介する写真は、七飯町に鎮座し500年以上となる三嶋神社の例大祭の折に開かれた奉納相撲の様子を写したものである。場所はおそらく隣接する七重小学校グラウンドの一面と思われ、大勢の観衆が土俵を取り囲んで、観戦している。おそらくは、昭和50年頃ではないかと推測している。



土俵の四隅は柱を立て、上部に水引幕を下げるなど、かなり本格的な設えで行われていたことが伺える。三嶋神社の年中行事では、毎年8月7日～9日にかけて例大祭が執り行われているが、かつては8月14日前後に開催されていたようで、その当時はまだ奉納相撲も盛大に催されていたというが、平成に入ってから開催した記憶はないとのことだ。いづれにせよ、変わらず例大祭は開かれているものの、奉納相撲は、もう見る事が出来なくなった夏の風物詩となってしまったと言えるだろう。

近年、娯楽は多様化し、それらを個人で気軽に楽しむことができる時代になった。ある意味、自由になったのかもしれないが、少し寂しい気もする。これから神社巡りをして、もし使われなくなった土俵を目の当りにした時、私は、この写真のことを思い出すだろう。

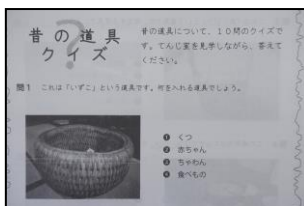
26日 ジュニア探検クラブ開講

うららかな春の日に、4名の子どもたちと始まった、今年度のジュニア探検クラブ。例年よりは、少人数ですが、それでも、この活動に、興味を持ってくれたことは、とても嬉しいことです。初日のこの日は、自己紹介や竹笛作り、館内の見学などを行いました。初めは、緊張した面持ちだったものの、すぐに打ち解けて、昼食の時間には、ベンチで、並んで食事をする様子を、微笑ましいものでした。今後の活動は、まち探検をしたり、登山をしたり、石器を作ったりと、盛りだくさん。楽しい時間を皆と過ごせますように。



ワークシートに挑戦！

常設展示室にワークシートを置いてあります。これは、小学生の団体見学に使うものと、同様のものです。子どもたちを中心に、徐々に参加してくれる方が、増えています。常設展示室の資料をよく見て頂くと、解ける問題です。昔の道具は、形や素材を見ただけでは、何に使う道具か、想像がつかないものもありますが、答え合わせをして、説明をすると、「なるほど！」と「知」が増える表情に出会います。皆様のご参加をお待ちしています。



リンゴの苗木が育っています。

歴史館では、リンゴの苗木を、二種類、育てています。たむらリンゴとレッドゴールドです。今はちょうど花の時季です。薄紅色がさした、かわいらしい花が風に揺れ、実が成ることを楽しみに感じる苗木です。時折、来館されたお客様からも、何の花かと、お問い合わせもあります。小さな苗木が、日々成長をするのは、楽しみです。もちろん管理も必須。消毒等を職員で行っています。次世代に繋ぐ、大切な苗木です。



編集後記 ～tawagoto～

資料整理に関わり、15年。多くの資料を見てきた。収集・寄贈されたときの状態は、実に様々だ。クリーニングしながら、くしゃみが止まらなくなったり、体に錆の匂いがついたり、薄黒くなった顔で帰宅することもある。時には、事情がある資料で、怖い思いをしたことも……。それでも、きれいになった資料が、再び収蔵庫に納められ、展示の際に、お客様から、状態を褒めて頂くのは、何より嬉しい瞬間だ。

6月の予定

1	日
2	月 休館日
3	火
4	水
5	木 夜の博物館 第1夜
6	金
7	土
8	日
9	月 休館日
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月 休館日
17	火
18	水
19	木
20	金 ピチャリ第210号発行
21	土
22	日
23	月 休館日
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土 ジュニア探検クラブ
29	日
30	月 休館日

※休館日：2日、9日、16日、23日、30

木彫り熊のクリーニング

ここ最近一番苦労したクリーニングは、この木彫り熊の状態。収集されたときの状態が、カビやホコリが酷く、最後にクルミの油で整えました。



Pichari ～ピチャリ～
第209号

令和7年（2025年）5月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp